

足利市地域公共交通活性化協議会

平成21年11月16日設置

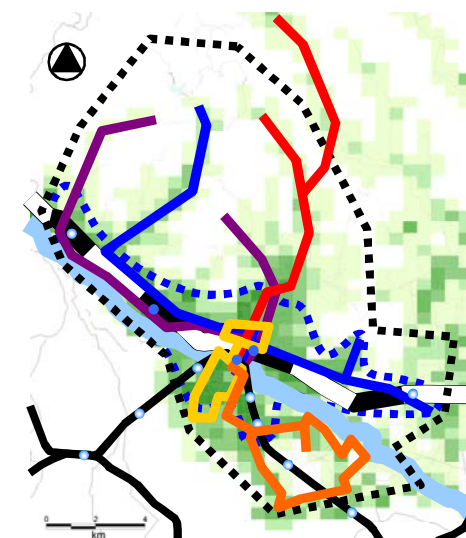


概要

足利市では、足利市生活路線バスが市民のニーズに適合しておらず、生活交通として機能していないことや鉄道との連携が図られていないなど、公共交通として不十分である。そのため、路線バス乗降調査、主要鉄道駅を起・終点とする乗換利用調査、市民アンケート等を実施し、人口・主要施設・利用者特性を分析することで、地域特性にあった公共交通ネットワークを構築し、市民の公共交通の利用促進を図る。

○地域公共交通の現況

生活路線バス 4路線8系統
佐野市営バス 足利線
JR両毛線 4駅
東武伊勢崎線 5駅



○地域公共交通の課題

利用者の減少、収入の減少、これらを起因とする運行補助金の増加。また、各路線とも距離が長いこと1日の運行本数が少なく公共交通として機能していない。

○調査の主な内容

現行バス路線実態調査・鉄道駅における2次交通実態調査・生活交通ニーズ把握調査・市内各施設における交通案内の企画、設計に関する調査・公共交通利用促進方策の検討

○地域公共交通総合連携計画の策定

生活路線バスを持続的に運行することができ、多くの市民にとって日常生活の交通手段の選択肢となるような公共交通を目指し連携計画を策定する。

